

平成 27 年度 大正地区センター委員会（第 1 回） 議事録

開催日 : 平成 27 年 10 月 23 日 15:30~16:30

場所 : 大正地区センター 第一会議室

出席 : 14 名

センター委員 出席 9 名

小松委員長、市橋副委員長、露木副委員長、萩谷委員、新出委員、
早委員、山田八郎委員、熊谷委員、福浦委員

委任状提出 欠席 5 名

戸塚区役所地域振興課 加藤係長

とつか区民活動支援協会 事務局 鈴木事務局長、

大正地区センター 村山館長、大内副館長、齋藤副館長（記）

資料	平成 27 年度 大正地区センター事業計画	資料-1
	自主事業報告	資料 1-1
	大正地区センター平成 27 年度収支予算書	資料 1-2
	ニーズ対応費報告	資料 1-2
	修繕報告	資料 1-2

■ 鈴木事務局長 挨拶

大屋館長が 10 月 6 日に永眠され、新たに村山が館長となりました。よろしく願いたします。また、本年度は、当館の指定管理の選定があり、最終プレゼン（8 月 27 日）で大屋館長が地域の皆様と大正地区センターを作り上げてきたことを審査員の皆様の前でプレゼンしました。皆様には本当に心より御礼申し上げます。また、これからも一層よろしく願いたします。

■ 小松委員長 挨拶

大屋館長さんのことは残念でなりません。大屋館長の力添えにより次期指定管理が 5 年間継続できてほっとしております。

■ 加藤係長 挨拶

第三期指定管理のために大屋館長にプレゼンをしてもらいました。次期も利用者、地域の声を取り入れて運営してもらいたいと思います。

この後、大屋館長を悼んで黙祷。

1. 自主事業報告

(1) 平成 27 年度自主事業報告

①資料 1-1 により、自主事業実績、自主（後期）事業予定を報告。

平成 27 年度は、40 講座、延べ 156 回の講座を開催、年度末参加者数想定約 2,000 名。
新規事業として、夜の稼働率をあげるためにヴォーカルレッスン、子育て支援としてベビーマッサージ、親子でヨガ、サークルの人員の増加をさせる目的で夏をのりきる薬膳等を開催しました。

- ② 資料 1-2 により大正地区センター平成 27 年度収支予算を報告
収入、支出がそれぞれ 37,565 (千円) の予算。

(小松委員長) 利用料収入の利用料の収入の「雑入」は何ですか？部屋代ですか？

(大内副館長) 雑収入の詳細は、印刷代、自動販売機手数料、カラオケ使用料、預金利子、図書カード再発行代です。

- ③ 資料 1-2 により、ニーズ対応費支出を報告。
140 万円の予算 (部屋利用料金の 1/3) と同額の支出見込。できるだけ利用者に公平になるようなものを購入している。大きなものとして、ウォータークーラー、音楽室のエアコン等がある。
予算残が 20 万円弱だが皆様のニーズを伺いながら対応していきます。

- ④ 資料 1-2 により、修繕費支出を報告。
100 万円の予算に対して、約 35 万円の予算残。館の老朽化に伴う修繕が多いです。

- ⑤ 資料-1 により、今年度のセンター行事計画を報告。

- | | |
|---------------------------------|-------------------|
| 1)大正地区バドミントン大会 (会長杯) | 5月10日 (日) |
| 2)大正地区卓球大会 (会長杯) | 6月20日 (土) |
| 3)ロビーコンサート | 7月 5日 (日) |
| | 12月20日 (日) |
| 4)大正地区センター夏まつり | 8月21日 (金) |
| 5)大正地区センター館長杯バドミントン大会 | 10月 4日 (日) |
| 6)大正地区センター館長杯卓球大会 | 11月21日 (土) |
| 7)大正地区センターまつり | 12月 5日 (土)、6日 (日) |

- ⑥ 資料-1 により、その他センターの運営状況を報告

- 1)大正中学校区 学校・家庭・地域協働事業実行委員会出席 (5月20日、10月14日)
- 2)おしゃべり広場モデル事業支援 (平成27年6月～平成28年3月)
- 3)センター空スペースでのじゃがいも作りを行い、さくらんぼ保育園とのふれあい
- 4)第三期指定管理応募 (8月)

・第一位で選定候補者に選定 (614点/750点=81.9%)

・選定候補者選定理由

第二期指定管理期間中において十分な経験を積み、地域団体及び個人利用者との信頼関係を築いてきたこと。第三期指定管理期間に向けては、さらなる子育て支援や青少

年健全育成に意欲的に取り組む姿勢が見られる。今後の大正地区センターが、地域の諸団体とともにさらに連携され、子育て支援や青少年の健全育成に向けて地域貢献されるよう期待したい。

- 5) 小学校社会科見学、中学校職業体験の受入
- 6) 外壁修繕工事 工事期間：8月12日～11月20日
- 7) 利用者アンケートへの回答

2. 質疑応答

・小松会長

東俣野小の作品だけまつりに出展されないのはなぜか。センターと学校は連携していただきたい。

・村山館長

学校の展示会と重なっているため、出展できないということでした。

・委員

中学生の利用でお手数をかけておりました。最近落は少し落ち着いて良くなってきていますが、活動する場所を変えて、食い散らかしや喫煙等があります。中学生が寛ぐということは必要ですが、時間など限度を超えないようにすることが大切です。

また、学力が低くなるために悪循環となる。学習支援を区役所の子ども家庭支援課で他の団体に委託して行っており、当校からも何人かの子が勉強に行っています。例えば、地区センターが基礎学力がつかない子どもの支援の場になるなど、これからそういう場が必要になると考えます。

・委員

小学校では、やはり基礎学力をしっかりと身につけられるように指導して中学校に送り出していけたらと思います。

・委員

老人会の方では特に何もないので、よろしく願いいたします。

・委員

自主事業で中山先生に講師にきていただいてバドミントンをやっている。バドミントン大会実施の提案をセンターからいただき、愛好者の皆様も大変喜んでいきます。

・委員

子育て支援の活動としては民児協としてやっています。また、大正地区の民生員の任期は3年なので大変です。次の方を探すのも大変です。連合町内会と地区センターで地域の活動を通じて連携を深めることができたらと思います。

・委員

今年度、自主事業の講座を地区センターと共催でさせていただいています。「恐竜のたまご」が終わり、これから「クリスマス工作教室」、「チャレンジカップ」があります。

大正歴史散歩の会は、消防法の関係で部屋毎に定員数があり、今迄はセンターを利用できませんでしたが、現在の会員数なら大丈夫なのでセンターを利用しています。救急医療センター跡地がセンターとして利用できればありがたい。地域の人と実現に向けて動いてくれたら良いと思っています。

・委員

カラオケとダンスができるような施設にして欲しい。管理はすばらしく室内は綺麗です。プレイルームが日当たりの悪い北側で、機械室が日当たりの良い南側にあるのは良くない。また、陥没している裏庭を修繕して、子供が遊べる広場をつくったらいいかなとも思います。

・委員

子育て支援は、親御さんの交流の場を目的としているのか、それとも子育て支援を行っている団体の活動の場なのですか。

・鈴木事務局長

両方です。

・委員

発達障害を持つお子様の教育を特別支援教育といますが、その子にあった支援をしていったらよいのではないかと思う。これからはそういうのも必要だと思います。地区センターでは何かそのような取り組みはありますか？

・齋藤副館長

地区センターでは自主事業で2、3年前に発達障害を持つ方のキャリア支援セミナーを開催したことがあります。

・加藤係長

区役所では、子ども家庭支援課に来た乳幼児（親子）、学童支援（小学生）、学習支援困難を抱える子供たちを支援していきたい。

・鈴木事務局長

昨年度、大正小学校の耐震工事で「親と子のつどいのひろば」が実施できなかった時、大正地区センターの和室を利用してもらいました。（きらきらの会）また、指定管理応募の中でも、大正地区センターは子育て支援、青少年の健全育成に注力することを提案しました。困難を抱えるような青少年の話

を傾聴して、中間支援組織などの専門組織に繋げることも考えています。

- ・加藤係長

地域振興課としても、今年度、青少年の健全育成事業支援のための予算を確保しているので使ってもらいたい。

- ・委員

そのためには地域の協力が必要です。皆さんがそれだけの意識を持っているのでこれからも連携していきましょう。

以上